

宗内寺院紹介 98

埼玉教区第五部

大宮観音 慈眼寺



- ①本堂
- ②本尊胎藏界
大日如来
- ③観音堂
- ④八百比丘尼宮
(八百姫宮)
- ⑤閻魔堂
- ⑥閻魔堂内部

当山は、地元水判土（みずはた）の地で「水波田観音（現・大宮観音）」として親しまれ、古くから信仰を集めてきた、千手観世音菩薩を中心とする寺院です。ご本尊は、開祖慈覚大師円仁が謹刻したと伝えられ、創建当初より崇敬されています。戦国時代に焼き討ちに遭い衰退した時期もありましたが、中興の祖・円海上人によって再建されました。境内には、千手観音に加え、閻魔大王や十王、奪衣婆をお祀りする閻魔堂、八百歳まで生きた尼僧八百比丘尼を祀る八百姫宮など、歴史ある建物や神仏が多く祀られ、数々の信仰と伝説が息づく慈眼寺は、今日まで地域の人々の心のよりどころとして大切に守られています。尚、現在は、観音境内の奥に建てられた本堂に安置される胎藏界大日如来をご本尊として、檀家様の魂を
お守りしております。

埼玉教区第五部

大宮観音 慈眼寺

住 所／〒331-0059 埼玉県さいたま市西区水判土462番地

電話番号／048-624-4509